



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回原爆のことをくわしくやって、
原爆は、大きな爆発だ、と聞いていたけれど、
原爆は、大きな爆発とともに地上に3000℃
の熱線、落ちてきた時のショック波、人々
を苦しめる放射線、これらが原爆と一緒に、
おしよせてきていたという予想とは、ちが
う。現実を知ってとてもおどろきました。
また、原爆ドームのことは、何だ、たの
か知らなかったの、この授業を受けて、
原爆ドームのことが広島県産業奨励館
ということを知られたのでとても勉強に
なりました。私は、原爆ドームが今でも
残っているということに原爆のこゝろを
みんなに伝えるために残っていると思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「原爆先生」を受講して、原爆の
投下された時の惨状や、池田義三と
いう人物にかかっているエピソードをお
聞きし、今の時代からは想
像もつかないような状態であった
ということが分かった。また、原
爆のメカニズムや、その被害につ
いて学ぶことができました。
自分は原爆の被害を直接見た
わけでも、被害をうけたわけでも
ありません。なので文や言葉で
のみ伝えていることしか知りませ
ん。だから直接痛みを味わ
た人の苦しさや辛さがすべて
理解できるわけにはありま
せんが、原爆の大きさを痛
は十分分かりました。この
苦痛をもう一度くりかえさねばならぬ原爆に対
特別授業ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆のことをまだあまり分かっていません。原爆を落とされた物がこわれたり亡なったりしたことは、分かりました。

みんながふき飛ばされ、目を開けた時、視界が真っ暗で立ってみたら家なんて一つもない。ただ何も無い世界が見えるだけ。

歩いてみたら「助けて、助けて」と言っている人達が多く、自分も、やけどをしていて助けを求めたり。

と、この所まで、私は自分で考えてみました。

考えているうちに、音や苦しさ、こわさなどは私には、感じ取れませんが、最後の動画や、池田さんかしゃへ。この時私達か思っているほど、

原爆は、そんな甘い物ではないと分かりました。全身にやけどをするほどの温度「3000°」

なんて私には分かりません。

暑いのはなく、火焼けでいっぱいさうなと

私は思。たことかなにかからです。私は、この授業を通して、原爆を甘くみない事や大きなむかひなどが出たこと分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞き、原爆のおそろしさを、改めて実感しました。原爆の近くの温度が、 3000°C 、 7000°C 、 $100万^{\circ}\text{C}$ と太陽を超える熱さで、想像を超えるもので、それを体験した被爆者の人々の思いを考えると、とても耐え難いものだと感じました。

外にいた人は、いっしょくんにして死んでしまったということを知り、その時の情景を思い浮かべると、残酷だったのだらうと思います。たまたま生き残ってしまった人もその風景を目にしたら、生きる希望を無くしてしまうのではないかと思います。悲しくなりました。

池田義三さんの、当時見た風景や体験から、とてもつらかったらうと思うと、インタビューで、少し感情的になってしまっていた所と重なり、見ていて、とても心が痛みました。

今回原爆による被害や、おそろしさを、知って、生きていく上で、とてもいい経験ができたと思います。自分の小さな力でも何かできることはなにかないと、考えます。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

特別授業をやってくださり、ありがとうございます。聞いていて、とても「そうなんだ」と思いました。原爆先生が言った言葉を、頭の中で想像し、より理解を深めることができました。ただ画像、言葉ではなく、時には音声までもつけているところが、分かりやすく私は良かったです。私が一番印象に残ったことは、手をななめ前にして歩いているということです。最初そう聞いた時は、「なぜ?」と思いましたが、「全身、やけどしているため、わきがこまれないようにしている。」と聞いた時は、モヤモヤが晴れ、スッキリしました。いっか、実際に原爆を体験した人はいなくなってしまうので、私は今日授業で教わったことを忘れず、これから先の人に、伝えていきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のおそろしさが分かりました
爆心地に近づけば近づくほどひどくなるのは
分かりましたが、「色がない世界」という表現に
戦りつしました。

最後の、地田義三さんのインタビューで、池田さんが
当時のことを思い出して、恐怖で声が出ている
様子を見て、本当に残酷な風景があったのだと思
いました。

また、資料を見て、7000どの火の玉が顔上に生まれ
て、衝撃波と熱で町中が焼きつくされ、運
たあかた人も放射能による原爆症によって悩まされ
ていることを知りました。

そして、人の命をうばい、すべてを汚染し、破壊し、焼
きつくしてあとかたもなく消滅させ、人の感情もやが
ませてしまった原爆が、二度と世界はどこかで
使われ、また同じ悲人事を起こすことがないようにと
思いました。

今日は、お話をして下さってありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾は前々からこわい印象があ、たけれど、話を聞いて自分が感じている印象や想像よりも残こくなものだと思いました。話の中でも被爆者についての話が心に残りました。なぜならば皮膚がはかれ落ちたり、傷口にうじ虫がいるなど、今生きている私には考えられないからです。そしてヒテオを見て、その場所にいる人にしか分からない、つらさや苦しみ、おそろしさや悲しさ、かヒテオから伝わってきた、すこく心が痛みました。これ以外にも原子爆弾は7000℃もあると話された時にとれくらいなのか実感かわかないほど高い温度で人々の命をうばったのだと知りすこくこわかったです。なのでこれからも原爆を忘れないで命を大切にしていきたいと改めて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

社会の授業で空しゅうをなからい、色々な人が死んでしまったのは、分かったけど自分が思った以上に大きな被害を食らっていた。広島は原爆は、人口の40%が死亡しているのて想像を糸色する人数だた。

インタビューの映像では、救済の手を出したか皮がはがれてしまったとあり、本当に痛い思いをしているんだなと思った。投下された時の図を見て、最初は想像がつかなかったけど、東京タワーくらいの高さから太陽が近づいているようなものと分り相当な被害を食らてもおかしくは無いと思った。しかも、人間の体中の水分がすぐに蒸発させるというのかびっくりしてそれでそこから上昇気流で雲になるというのを初めて知った。また、原爆の熱線や衝撃波、放射線で建牛物がこわれてしまうのがあまりにも残さくた。広島に投下された原爆たて、あの被害を「トルボーイ」といわれているのだが原爆はとても恐ろしいという事を改めて実感した。広島や長崎は条件と合っていただけで被害を食らうというのを無差別にすると思った。今回は、貴重な体馬矢をさせて頂きありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/3

私は、今回の受講を通して戦争ではなく原爆の恐しさに目を向けることができました。私は元々「はだしのげん」で戦争や原爆について授業外でも学んでいました。しかし、「はだしのげん」で描かれている原爆がおとされた直後の光景はあまりに悲惨なものでこれが本当のことかどうか半信半疑でした。そのため、今回の受講の中で原爆を味わった方が広島にある資料館で原爆がおとされた直後の人を真似た人形を見た時に「きれいすぎる」と言ったことには驚きを隠せませんでした。そして私は、1945年8月6日の広島のことには「はだしのげん」の原爆直後の絵と同じ、もしくはそれ以上であったことを知りました。私たちの学年は、4年ごろに読書感想文や教科書でさまざまな戦争の読みものを読みました。しかし、当時の私は戦争のことが次元が違うように感じられまた体験をしたことがなく想像をしいにくいものでした。今回の受講で私は戦争について伝えることの大切さも学びました。原爆の恐しさを私たちに教えていただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

体験した人しか話せない、というか体験した人ですら上手く言い表せないような出来事がある。たとえば、映像や言葉の選び方からひしひしと伝わってきた。なにより「想像を絶する」という言葉が、原爆の悲惨さを物語っていた。人の口から聞く私の衝撃があれほど大きかったのだから、実体験した方の衝撃はとてつねに大きかったらうか。

今まで原爆＝強い爆弾と思っていたが、話を聞いて「なんでも物ではない」ということが分かった。熱線は太陽よりもあつく、衝撃波は音よりも速い。さらには大量の放射線で病気になることも初めて知った。熱線で人が燃えたりするのかもしれない。内臓に至るまでの水分や防壁にその水、川までもが一しんぷらう・蒸発することから、心の底から恐ろしいと感じた。また、「人ではない」と言っていたという被爆者は想像するだけでも痛ましく、恐ろしかった。

貴重な体験談、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3 / 3

私は初めて、今回のように原爆について詳しいことや実態を知りました。私は、歴史の本や歴史の学習などで原爆について学び、「日本はたまた数十年前にこんなことがあったのか」と思っていました。しかし、今回の特別授業を受講したことにより、原爆による被害をより深く知ったため「教科書のような原爆についての資料だけでは、原爆の被害の大きさが伝わらないな」と思うようになりました。また、今現在、憲法などによって戦争をしないという条約があり、平和な暮らしをしている人々が多い世の中です。しかし、平和になり、戦争・原爆投下から時間が経つにつれて、誰かが伝承していかないかぎり、このような原爆のひびきは伝えられないと思います。だからこそ、今日この場で学んだ原爆のことを、自分が知ったから終わりにするのではなく、誰かに伝えてみるというように、何かできるのか。私には何かできるのかを大切にして、戦争の悲惨さを忘れないうような平和な社会を生きていきたいと感じています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆を実際に体験した人と、原爆を想像している人(原爆を体験していない人)の意見の相違の大きさについてとてもおどろき、まうかくしました。このことについて2つ話します。1つ目は原爆の恐ろしさです。僕は長崎で原爆が落とされたときの写真を見ました。見ているうちにとても気分が落ち込み、とてもこわいということが分かりました。しかし、今日の話聞いて本当の体験の恐ろしさは写真をはるかにまうかくしました。1しゅんで辺り一面が焼け野原になり、死体がるるいと重なり、とてもあかたです。また、「こわい」だけでは言い足りないということも同時に感じました。2つ目は原爆を体験していない人の甘さです。原爆のことを涙を流しながら語る姿を見て、とてもむこあたと気付かされました。特に、原爆資料館の人形を見て「きれいすぎる」と言った時に感じました。僕のよいおしいちゃん、おばあちゃんが戦争を体験しました。これから二度と戦争をしてはならないと感じ、この経験を後世に伝え、継つなげていきたいと思いま



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで、私は原爆についてよく知らず、なんともひどい爆弾
かと思っておりましたが、実際に体験した義三さんの話を聞くと、
いかに原爆が人を苦しめたのか、深く実感しました。
被爆者を助けたのに助けられない、という辛い思いや、
死体を引張るときに皮ふや肉が剥がれ落ちるという怖さを
知ることで、原爆の悲惨さが分かりました。特に驚いた
のは、衝撃波の話です。一気に周りの空気がぼう張して物
凄い衝撃波が音速よりも速く押し寄せてくると考えるとより
怖くなりました。そして、一瞬真空地帯ができるのも驚きました。
また、義三さんが十七歳でこの仕事をしているということにも驚き
ました。八人の仲間を率いて、必死に救助したり、苦しみなが
らも死体を回収したりする姿に胸を打たれました。もう、原爆
のことを話せる人は少なくなっています。でも、今回その貴重
な話を聞かせていただき、とても感謝しています。そして、この
ことを次の世代にも責任をもって繋いでいきたいです。
戦争は、多くの人を苦しめました。もう二度とこんなことが起こ
らないように、平和で、安全な暮らしが、世界中でできるように
なることを願っています。今回は貴重な話をいただき、本当
にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ず、と、原爆、こわいと思、ていた、でも、
原爆は、も、と、おそろしいものだ、た、ただ
広島に、あの日の、あの時間、に、いた、という、だけで
5人に2人が、死んで、しまった、なんて、... 原爆、
、こ、本、当、に、お、そ、ろ、し、い、も、の、だ、と、思、う、し、か、も、
原爆の熱線と衝撃波で人間の遺体
も残らない、なんて、ひどすぎる。生き残、
も、ほ、う、し、の、せ、ん、の、え、い、き、う、で、原、爆、症、に
な、て、死、ん、で、し、ま、う、人、が、い、る、な、ん、て、ひ、ど、い、
この話を聞いて、原爆、なんて、危、い、も、の、
もう、作、ら、な、い、し、戦、争、も、し、て、は、い、
け、な、い、と、あ、ら、た、め、で、思、た、。今、の、世、の、中、
が、平、和、な、の、ほ、と、も、あ、り、が、た、い、こ、と、な、ん、
だ、な、と、思、た、。原、爆、先、生、今、日、は、お、話、し、し、
て、く、木、と、あ、り、が、と、う、ご、ざ、い、ま、し、た、。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

私は戦争は「こわい」「平和じゃなくてヤダ」など、マイナスの気持ちで思っていました。「今回、戦争の語の授業があると聞いて、こわくてイヤでした。しかし、今回、原爆先生の話しを聞くことで、戦争のことをより深く知ることができ、恐怖を味えることができました。「池田義三さんがどんな人だったのか。また、「広島県産業奨励館(原爆ドーム)はどのようにしてその形になってしまったのか。」知ることができました。

私が一番びっくりしたことは、広島県の死亡率が40%で、5人に2人が亡くなっていたことです。そういう状態が長く続いていたのは、とても悲しいです。

今回、原爆先生の授業を受けて、戦争はどれだけのこわいのか。また、原子爆弾の歴史を知ることができました。今度、原爆に行ってみたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を受けて、ふつうの学校の授業では教鞭がなかったことを教えられることができました。その中でも、ぼくの心に残ったものは、原子はくた人による、ひがいと、仕組みについてです。はくた人の大きさは、3.12mと、最初は、小さかったのが、大きなひがいにはならないと、思いました。しかし、実際は、大きくて速いしょうけき波や、3000℃をこえる熱風などによって、大きなひがいになってしまっていたことを知りました。また、はくた人は、地上10000mのところから、時速300kmでとんできて、スカイツリーの屋上あたりで、直径200mで、表面温度7000℃という、太陽よりも熱いものになってはくはつすると知り、おどろきました。ぼくは、この経験を、家族や、次の世代の人に話して、原はくのおそろしさを知ってもらおうと思います。今回は、たくさんの方のことを教えてもらい、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原火暴先生の特別授業を受講して改めて戦争の意味を知ることができました。

私は社会の孝女科書を見てるとき戦争はおこしはいいかなと思っていました。

でも体験した先生のお話を聞くと原火暴は太陽より暑いと聞いて私は改めて戦争のこわさを知ることができました。

私は先生のお話を聞いておどろいたことはもう一つありました。それは声の大きさです。先生が急にしゃべらなくなったと思ったら急に大きな声を出したことにびっくりしました。

私は先生のお話を聞いてもどこの悲しみを広げていきたいと思いました。

今回はお話ししていただきありがとうございました。先生はどこの悲しみを広げてくださいます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生から原爆について話を聞いて教科書などで調べたこととぜんぜん違ひ自分の戦争に対しての考えが変わった。最初は「戦争は大変だ、たんだな」と思っていたけど、今回話を聞いて原爆では色々な人達がなくなっていて、生き残った人々は重しなけがをおとしていることを知った。また、生き残った人達は現在でも苦しんでいると分かりとても胸が苦しくなった。「何で原爆なんてものがあるのだろう」「どうして原爆をおとすのだろう」と話を聞いて思った。また、多くの人々の命が失われているのに原爆を落とし続ける人の考えは私はずいぶんこくだと思っ



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことを社会の授業で習った時、回爆発し、そして終わらしたと思っていました。でも、今回お話を聞かせていただいたのも、とこわく、おそろしく、その後も悲しいものだった、というのが分かりました。太陽よりも熱いものが、音よりも速く、とんでくる。目が覚めたら、何もなし、それだけでもこわい。なのに、人間ではないような人間が、たくさんいる。想像は出来ない。でも、こわい。助けたくても助けられない。精神的にも、つらいと思いました。他にビデオから、さらに原爆の悲しさを感じました。泣きながら語られているのを見て、ビデオなのに、原爆によるつらさ、悲しみ、様々な感情が心に深くつきささりました。教科書や本などの文章では感じられない感情です。今、平和な世の中を生活している自分にとって、被爆者の方達の気持ちを、すべて分かりきることは出来ません。でも、過去にこんな悲しいことがあつた。その出来事を忘れないようにしていきたいと思いました。貴重なお話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

最初のよしろうさんの話のところではななめにたれた手で歩いている人や、糸ヶ屋町の灰色の世界」と言っているところがありました。灰色の世界」には全てが焼けていることで実際に体験していないと分からない悲惨なことだと分かりました。他にも「兵隊さん、助けな」と言ってよしろうさんに呼びかけているところは想像できましたが、本当はもっと大変なことだったのかもしれない。よしろうさんの話以外にも原爆についてのことで思ったこともあります。原爆投下のことについて、候補になった着市は、広島、長崎以外にも東京に近い横浜が上かっていたりしておどろきました。また京都が候補から除外された理由も意外で「日本人理由で除外されたんだ」と思いました。原爆も太陽より表面の温度が熱いなんて考えられません。今回の授業で戦争や原爆など人の命をうばう戦いは二度としてはいけなりのということとより強く思いました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは特別授業を受けて、特に、熱線と、衝撃波、放射線の3つが心に残った。

「リトルボーイ」によって、火暴弾から放たれた放射線で人が苦しんでいた。また、その火暴弾から出る表面温度が、熱線の影響もあり、多くの死者を出していった。その中で火暴弾の中心の温度は100万度を超え、表面温度だけでも太陽を起える7000℃と、とても熱いことが分かった。それから、土の中から、たまたま、600mの所にあり、と分かっただけで想像としてでも、とした。だが、アメリカはなぜ、原子爆弾投下都市の条件が最も適切して、京都に落とさなかったのか、と、しだいに思いはじめた。

今回の特別授業を受け、原子爆弾も、戦争も行ってはならないことだと改めて実感した2時間になった。そして、被害を受けた人の身になって思うと、とても残こくたと思えるので、これから、戦争の悲しさも忘れずに生活をしていきたい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆はものすごいスピードで、ものすごい数の人の命を
うばったということは、前から知っていたが、それだけ
であり、それ以上は知らず、知ろうとしなかった。
そのため、今回この授業を受けて良かったと思う。
原爆は、エノラ・ゲイという一機の爆撃機によって
運ばれ、投下された。そして、高度約1000mの地点
から落とされた原爆は、すさまじい熱と、しょうげき
波を持って一瞬にして約2万人もの命を消した。
その後、多くの死亡者が出た。そして、それ以上の
人が苦しみ、悲しんだ。被爆者だけでなく、その家族や知
合いなど、想像を絶するような数の人が苦しんだ。
このような事実を知れたことで、二度と戦争を
しないこと、二度原子爆弾を落とさないという考え
を広めていきたいと思った。そして、この世の
平和を願い続けていきたいと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生が話してくれた話の中で、原爆のせいで皮ふが垂れ下がったり、全身にやけどを負って真っ黒になつたりしている人がたくさんいて、その人たちの手をつかんでトラックに持ち上げようとしたら、皮ふが落ちたと言っていて、原爆の被害を受けた人達はそんなひどいことになっているんだと思った。他にも原爆が爆発した場所の真下の温度は3000℃になっていて、その近くにはた人は一しゅんで消えてしまったということを知って、原爆は何万人もの人を一しゅんで消してしまい、たくさんの人々を悲しませてしまうから、原爆はもう二度と作らないでほしいと思った。そして、その原爆の被害者は24万人で死者は14万人にもものほり、広島市人口の約40%もの人が死んでしまったことを聞いて、戦争とはどんなに悪いことを改めて知ることができたからこの授業を受けることができて良かった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

「ぼくは、原爆のこわさを知り、死ぬのがこわくなりました。原爆についてよく知ることができて、昔は戦争があり、被害が多くあったのには、たぶん平和で、昔の人がすごくかわいそうだな、みたかおとくろと思っていました。原爆しょうになり、亡くなる人もいて、それには、まぶしくして、いる人がいて、大きな被害があったとよく分かりました。日本は「戦争はしない」ということになり、安全安心になり、あらためてよかったです。3000℃といふくらいの中から、良く生きてくれたなと思いました。広島市の人口が35万人で、それから、被爆者数が24万人で、死者数が14万人で、5人に2人の割合で亡くなるのは、とても辛いことです。自衛隊の人はよく自分を犠牲にしてまで、人を守り続けてくれたなと思、います。ぼくは、人々の命は、無だにはしてはいけな、いと思、います。ぼくが自衛隊になら、一人でも、大く命を救、おうと思、いました。ぼくは、昔は、戦争があったのによく、こまで、平和をとりもどすことができたな、と思、いました。ぼくは、もと、原爆について、いろいろな努力をして、生きぬいてきたことを知りたくなりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

自分が思っていたより、被害が強く地上では
温度が3000℃にもなり、人々を人かたくなるなんて
想像で教いたし、思いました。また原爆のときにて
さきのこと雲はしめけきにより空気が動き回り、
できるといことは初めて知りました。

太陽の熱さ6000℃に対し爆発したところの温
度が1000000℃はやはりなと思いました。広島市
の人口35万に対し亡くなった人14万で40%の人が
なくなったというデータを見ると原爆で人はとこ
つもないいかにこの世の中にあつてはならないもの
だということを知りました。私は死んだ人遺
たいの片づけなどこわいしとてもできないなと
思いました。また京都がアメリカの兵士たちにお
おれしていたのは初耳でもし京都に落ちていた
ら世界遺産の数々が今はなくなっていると思うと
日本の文化が消えていると思うとゾッとします。
今平和に暮らしている私たちは二度とこのやうな
ことをおこさないよう今日学んだことを生
かして生きていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

やはり原爆の話は、本当に体験した人にしか^五語^らることが出来ないくらい、悲しくて、おそろしいことなんだなと改めて分かりました。自分たちはまだ、原爆をおとさず、死したことはないし、そのように、当時のおそろしさを、まだ完全に理解していませんでした。それを原爆先生には教えてもらい、原爆はおそろしい、アけんなんだということを、しっかりと理解できました。学校で原爆のおそろしさを話してもらうことはあまりないので、自分にとって、すごく大切な時間をありがとうございました。よく、親からはせんそうなどになった時のためのじゅんびは大丈夫だとよくおっしゃいますが、自分はそう思いません。なぜならせんそうを起さなければいいからです。この教えてもらった、この原爆のおそろしさをみんなに伝えて、せんそうを起ささないように、みんなで、気を付ければ、せんそうを起さなければいけなくて、できるかもわからないから、おそれなくても、原爆のおそろしさを伝えてくれた原爆先生のおかげです。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

人間とは思えないような人の救助を一生懸命にする
池田さんの勇気に感動した。原爆症に苦しんでいる人や
その親族、原爆によって亡くなった人とその親族は、自分たち
が何か悪いことをしたわけではないのに苦しんでいて、理不尽
だと思っているかもしれない。こんなにも破かい力がある原子
爆弾を使ったアメリカにも何か深い意味があってはな
い得ず落としたのかもしれない。原子爆弾を落とした
航空機の航路を見て分かるように、すぐに回らない
と爆発にまきこまれてしまうので、命がけで原子
爆弾も落としたのだと思う。→その航空機に乗った
かった人は少ないと思った。

原子爆弾を落とす候補になって優れていた
都市として京都が挙げられたが、貴重な文化財
があるという理由で落とされなかった。→ここから、
人間としての思いやりが戦争中でもあったことが
分かる。広島市の人口の40%が死んでしまったこと
に対して、アメリカ人は反省したのだろうかと思った。
8月に原子爆弾に関する絵が展示されていたので
見たが、事実では自分の想像を超えるものだった



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

21時になると兵に行かなければならぬが
ことにびっくりした。また、兵がない
一般の人たちもたくさん死んでいて
もう二度と戦争などを起こしては
ならないと心から思った。また体験
者の話を聞くと、さらにその時の様子
が頭に浮かび、とても恐しかった。
そして、たった1つの原子爆弾で広島
の何万人もの人が死んでしまったこと
にショックを受けた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2年ほど前、広島の実験ドームや原爆資料館に行
たのだが今回の授業を通して自分はまた何も知
らないことを理解した。また、原爆資料館で自分
が見たあの絵や人形はどれも人間とは思えないよ
うなものだ、たのみに池田義三さんはきれいなと
言ったのがおどろきだった。実際は自分が見て恐
怖をおぼえたもの以上の事があったことにお
どろきをかたじけなかった。原因は自分も原
爆ドームを見た、原爆資料館で見た絵
などでも知らず気になっていた自分がはげか
いと思つた。今この時も原爆のせいよ
うで苦しんでいるのに戦争について何一つ考
へない自分がバカなやつになった。戦争を
知らない自分が戦争や原爆について考
へたとしても本当のこととは分
らないだろうが、その苦しみを伝えられ
るようにしっかりと考えていきたいと思
つた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1

原爆先生などは、授業で少しやっていたので、あまりよく分からなかったが、今日の授業でも、面白いものがあったと思います。

まず、原爆の中心の温度が、100万度と書かれて、あまりそうすることから、で、また、太陽の表面温度より、お父さんが、一瞬間で消えるというところから、とても面白いところだ、というところの、あつた、面白い、と思います。

また、原爆は、衝撃波という、衝撃線、熱線と、あつた、核分裂する効果がある、ということが分かった。また、話の中で、皮膚が、スリムと、いふ、か、れる、というところ、で、そう、そう、する、と、とても、か、い、思、い、を、け、ん、た、い、と、思、っ、た、と、また、17、さ、い、で、兵、隊、に、な、る、死、ん、で、ほ、う、か、し、れ、な、い、ま、う、ぶ、と、た、い、合、わ、せ、た、た、の、で、い、は、な、い、の、か、け、と、思、っ、た、と、改、め、て、戦、争、と、い、は、い、い、つ、た、い、と、思、っ、た、と。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の講習を受けて、原爆で、多くの命がなくなったこと、また生きていてもそれに苦しみ続けた人たちの様子などの話を聞いて、もう二度と戦争や争い事で、関係のない人の命をうばうこととしてはならないと思った。また、戦争の悲しさなども今日の講習から分かった。ほんの一、しゅん、で多くの命がなくなるのを想像しただけでも、鳥肌が止まらなかった。最後のビデオなどで、戦争や、原爆の被害の苦しみが分かった。今まで学習してまだ中で、学んでいなかった。本当の体験談などで、さらに戦争をしてはならないことが身にしみた。今は、もう平和で安心できる日本だから、今でも原爆症などで、苦しんでいる人もいることが分かった。太陽の表面温度よりも1000℃もちかいう、原爆が日本に落ちてきたと思うと考えられないうしろ怖れたと思った。原爆でたくさん人の命やものがなくなったから、それでも、日本の人口は、あきらめないうで努力し続け、今の安心の日本があると思った。これからも、原爆の悲しさを忘れないでいようと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆の事を身近に考えていながら、
たので、身近に考えるきっかけになりました。
前までは、原爆は、そんなに大変な事だと分か
ていなく、かるく考えてしまっていて、自分から、堂
ぼうとは、ま、たく思、ていながらたのですが、
社会の授業で、そのひどさを知り、少し、関心
をもつようになりました。今日、おどろいた事が
2つあります。1つめは、原爆が落ちた時の地面
の温度が7000度だったという事です。夏でも、本当
に高く、40度くらいで、クーラーや、せん風機を使ひ
ちと体がもつぐらいなのに、生きていたという事です。
2つ目は、大変な軍の命令に最後まで、たえた事
です。もし私が、その命令をされていたら、イヤになり、
にげてしまふと思ひます。それをたえ、人を助けていた事が
すごいと思ひ、おどろきました。この事をどうして、戦争
のひどさを知り、ぜたいに、忘れては行かないと思ひま
した。今後、機会があれば、ぜひ行ってみたく
思ひました。今日は、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生、特別授業もいただきありがとうございます。原爆による無慈悲な光景しごと伝わりました。しかし、このようなディベートの題材があるのは知っていますか？

広島に原爆が投下されるのは正しいのか。これは倫理的、道徳的にいえば、NOです。しかしもし、ここで広島に原爆が投下されていなければ、他の大都市に空襲が行われ、コンピュータでシミュレーションすると、広島時の死者よりはるかに多いのです。つまり、総合的に見れば「Yes」なのです。ここからいえることは、答えて矛盾が起るほど原爆は複雑なのです。そして私たちは、この問題と深く真剣に向き合わなければならぬのです。

今回が講演の機会が非常に多い



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今は平和でいい暮らしをしているけど、昔は戦争でつらい思いをしていた。私達は話を聞いて想像することしかできなかったけれど、話から当時の人は原爆からにげるのに必死で、川や災害用の水おけに入、てにげまわっていた。しかし大量の川の水がやけど以上のあつたになるくらい、原爆はあつたことが分かった。原爆が投下されたあとの死亡率は40%で5人に2人がせくなってしまう。たろうが今でも原爆のえいきょうで受けた症状や家の被害が残り家に帰れない人もいるらしい。このことを聞き昔は戦争は身近にあり、人々ほきょう心の中で必死に暮らしていたのだらうと思った。今は平和だが、また戦争が起きたり、原爆が投下されるかと思うと昔の人々ほとしてもこわくつらい思いをしたのだらうと、つらくなる。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この特別授業を通して、改めて原子爆弾の悲惨さをも痛感した。また、原子爆弾を使うには、どんな理由があろうとも、絶対にいけない、と思った。また、義三士の体験談を通して、当時まだ17才だった義三士は原子爆弾によって焼けこげてしまった人々の遺体をおぼつたり、助けをおぼえている人をトラックの荷台に乗せたり、と、若いながら大変な思いをしたんだなと分かった。僕は原爆を体験していないので、その大変さや、亡くなった人々の辛い思いは分からないが原爆先生の現実的な表現によって、少しは原爆を体験した人の心を読み取れたかなと思った。太陽の表面温度は約6000度、原子爆弾の爆発した時の温度は約7000度である、ということを知って、太陽が空から降ってきて自分の皮膚に直接触れる、ということも想像した。想像しただけでも心がおぞましくなってきた。本当は、そんな僕の想像を絶する程の熱さと恐怖、辛さなんだな、と思った。今回、この特別授業で、本当に原爆のおそろしさを実感できた。本当に、ためになったと思う。これからは普通に生活できることに感謝していきたい。

年2組 阿部 匠



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕はこの特別授業を受講して原爆のおそろしさを改めて感じた。爆発したその時だけでなく何十年も後まで人の体をおそろしい点でとてもこわい。僕達は原爆をおそれにくおたさう。しかし原爆を経験したからそこに至る。僕は体験していないためそんな生意気な事を言っているのか分からないが原爆があったから今がある訳だと思ふ。原爆に限った話ではなく他のいい事悪い事全てが今の世界を使っているのだと思ふ。そんな事が話しを聞いてなんども脳裏をよぎった。僕は広島に行った事がある。混んでいて残念な事に博物館には入れなかったが原爆ドームは見に行った。また映画を見たりニュースを見たりした。そのたびにあの当時を想像してしまう。今日も話を聞きながら想像した。今は被爆者も減ってきているからこのように受講も増え僕達に受け継がれていく。しかし完全に受け継ぐ事はできない。でも僕達は人類のこの悲劇を後世まで伝えたいと思ふ。それと同時に、いい戦争を終わらせる方法はなか、たのめかと考えていこうと思ふ。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

社会の授業では細かいところまでは分らなかったけど
今回のお話で、候補になった都市はどこだったのか、
原子爆弾がどのような場所に落ちたのかという細かい
ところまで教えてもらい、勉強になりました。

時間があったらKindle電子書籍で7000°Cの少年ヒロシ
マの九日間、や原子爆弾の歴史を一度でもいいから最初
から最後まで想像しながら読みたいです。
昔あった戦物のミスターをよく買え同じ事を作り
返さないようにしていきたいです。

平和の大七カサをあらためて実感しま
した。

分かったこと

大場は6000°Cでも爆弾はそれを1000°C
上回る7000°Cだということが分かった。
今もずっと苦しんでいる人がたくさんい
る。

原爆ドームはええ 広島県歴史資料館だた



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田 義三 → 17才 軍隊に入り 広島で消火活動
 太陽の熱さ → "6000℃" 鉄が溶ける温度1600℃
 内臓の水分が一瞬のうちに蒸発
 助かった人はトイレにいた。ほとんどの人が亡くなる。
 雲がたくさん発生した。
 ↓ 赤・黒・青・白・灰・紫・茶色
 原爆症でたくさんさくなくなった。今でも苦しめられている人
 がいる。

感想

原爆が落されてしまったせいで、ひら、か、ぼろぼろ
 に落ちるほどの火けどをおおたり、5人に2人
 が亡くなった。りとても大変だったということが
 この授業で分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆ドームは、たくさんの歴史を積み重ねて、世界遺産となった。その原爆ドームは「広島県産業奨励館」という名前だったが、「リトルボーイ」という爆弾により、「原爆ドーム」という名前となったことを知った。他にもリトルボーイは重力によって落ちていき、600mのところまで投下した。そして、太陽が近づいていき、体中の水分が蒸発し、内臓を灰にするほど熱く、町の建物がとけてしまった。もうほど熱くなり、原爆のおそろしさを知った。他にも真空地帯になり、空気が少なくなり、酸素不足になり、たくさんの人が亡くなっていった。原爆ドームの中にいた人は、5人に2人が亡くなるほど、かた人に命をうばわれてしまうという、苦しいことがあった。他にも原爆症により、現在も苦しんでいる人々があり、原爆を体験した人々は、悲しい過去になっていて、辛くおもった。

ぼくは前の授業で原爆の被害の危険を知りました。原爆が降ってきた時の気持ちや情さは見ている人より体験した人の方が何倍もこわかったと思いました。今日本は平和だけど昔は戦争で罪がない人が亡くなってしまったり戦いに行かなければいけないので悲しい思いをした人も多いと思います。人だけでなく国の建物もなくなったりしたので二度と戦争をしてほしくないです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

ほくは原爆先生の話しを聞いて原爆のおそろし
をしめました。ほくは戦争のことをはじめてしるな
けれど先生の特別授業を受講して、また改めて
戦争のことをしりました。先生が教えてくれた7000人の少年は
さいは どういうふうな様子と見えましたか話しをきいて
原爆のこととたまたまなとよびました。

5分の動画を見たとき戦争のことを語っていた人
が泣いていたので原爆はとておそろしなものな
なと感じました。ほくは原爆はパウシュートでま
きたと思っいましたか先生の話しをきいてパウシュート
はなにということが分かりました。アメリカはなぜ
こんなおそろしものを二度もまとしたんだらうと
思いました。

原爆先生の特別信書集をみて

池田さん先日はありがとうございました。

原爆ドームは夏のライトアップされている姿を見たことかあるのですが、このテレビの話をもいで本当のライトアップはいいことなのかと思いました。

また原爆ドームに行きたいです。

林田 悠佑



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して感じたこと
 ぼくは原爆先生の特別授業を受けて、原爆先生が演じ
 ていたその時の風景などを感じてぼくはその時に1人、と
 その時の風景が脳がピエリかきました。原爆先生がお
 られていた、トラックに被爆者を引っぱたが皮ふがは
 がれて、というところにとてモ心に残りました。理由は
 原爆を受けても必死に生きようとする姿がす
 ごいと思ったからです。原爆は太陽を越える温度
 なのに、広島の人々は必死に生きよと、「兵隊さん兵隊
 さん」と呼び掛けを思い浮かべるとてモ心が苦しくな
 ります。これからほんと戦争のことについて深く
 考えたいと思いました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島と長崎だけじゃなくて、横浜と新潟と京都にも爆弾が落ちていた。太陽の温度は6000°だけど、原子爆弾の方が高い温度で、中心は100万°で外側は7000°である。地面と上空から落ちた爆弾の差が600mの時に地面の温度は3000°ですごく熱いと思いました。原子爆弾は1回だけじゃなくて、2回爆発して2回目は地面にはおかえた時にも爆発することが分かりました。広島では5人に2人が爆弾で死んでたくさんの方がなくなったのが悲しい気持ちになりました。ニュースや話では聞いていないことをたくさん分かることができてありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を受講して思ったこと
考えたことが二つあります。

1つ目は、「ヒュー...ヒュー...ドーン!!」の所です。私
は後の方の席でいきなり「ドーン!!」と言われびく
りしましたが他のみんなもびくりにしていたので
「これは誰が聞いてもおどろくのかなあ」と少し怖い気
持ちになったことです。

2つ目は「助けて...助けて...」と助けを求め
けうご人^死にたいをほこつたのではないかと
思ったことです。皮膚が焼けたで赤い塊が出
ているなんて 相当に痛いし、つかい出来事だったと思っ
けど軍人さんが助けてくれなくて にも身体も
つかたのではないかと思われました。

この特別授業を受講して他の人でも怖
い思いになるということは戦争は恐しいこ
となので二度とつかい思いが生まれないうに解
びかけをどうするようになりたい。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田 義三(17才) → 陸軍入隊 徴兵令 ↓ 9日間かけて...
 荷物? など取り行く係 原爆での死体や消化[×]活動
 京都は、建²物が密集 → 一番強く原爆を落としたし
 しかし、文化財が沢山あったからやめた 日本人の感情を考^ね
 した? 当日、広島²の 天気が良かったから、とう下された...
 「リトルボーイ」 太陽6000℃ → 太陽が住んでいる町に近づ
 いてきたのと同じこと 鉄がとける → 1500℃ 内臓にいたる
 水分が一^ししゃんで、炭になる... 上から直で熱線²をうけ
 ているから、かげができません。一^ししゃんで²炭²えさ²か、しょうげきは
 がやばがた、助かった人 → トイレに居た、原爆が落ちてき
 た時、大勢の人が生きてた、その後の煙で、死んだ... 上昇気流
 で雲が、発生²！雲の上が²平²、これ以上上に上がれぬから
 原爆症 → 放射能が原因

感想

今まで、自分は、戦争や原爆など、との関係が
 まったくなく、無関係だと思²っていたが、自分が住ん
 だ国で、起こったこと、また、悲²さん²さ²なんて、
 全然、自分には、分からな²か²たけれど、全身に
 やけどをお²ている人などを想像しただけで



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の特別授業を受けて、原爆の大壮
は3メートル弱しかないのに、おんなに被害が大きくなるのを知
て、おどろきました。今は平和なけど、昔は怖かったことがあったと
して、身が震えました。そこで、昔の人は、戦いに行って人を守る行動
をしていて、よく頑張ることができると、えらい、すごい! と思、て感心
しています。今日僕が授業を受けて、交力果首や身がリキリで教
えてもら。たが、内容が良頭一伝おりました。そは番号を、て資料で
分かりやすくするの、とそれから何か発表するときに使、ておりました
と、思、たのは、席を空、て台本などにしゃべっていた所です。なぜかと
は、僕も暗記にはあるけれど、あれが、ては、ては覚、えられな、い、り、
です。僕はピアノを、ていて楽譜を覚、えられるのも多くて15ページぐらいで
アラス弾くだけ、音楽の流、れ、的、に覚、えられる、て、は、譜、の方が文字数が多
い、アラス、譜、を出して、は、最、中、忘、れ、て、は、い、ので、譜、の方が大変、だ、と思、い
ました。ピアノを弾、く、な、が、ら、しゃべると、忘、れ、て、は、い、るので、ピアノの、最、中、に、話、が、
ら、れ、て、答、え、な、い、と、少し、心、配、を、ま、す。た、が、ら、ピアノの、音、符、を、と、よ、か、く、覚、
え、て、お、え、ら、れ、る、と、い、い、た、い、です。

原爆は爆発した一瞬で水が熱くなることを知、て、す、ぐ、く、(X)お、ど
ろ、ま、す。た、ら、に、被、爆、近、く、の、広、島、県、産、業、大、学、の、食、堂、が、残、り、て、い、た、こ、と、
が、い、い、て、さ、け、が、出、て、お、ど、ろ、ま、す。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話を聞いて、ゾッとしたり、泣きそうになっ
たりしました。リトルボーイは、エノラ・ゲイという飛行機で落とした
のも始めて知ったし、ほとんどが始めて聞く話でした。私は今
までに何回か戦争の話を聞いたことがあります。それぞれ
話す人によって、シュチュエーションが違ったり、表現のしかたが
違いました。また、だんだんと経験者がいなくなってい
戦争のことについて次の世代の人々にどう伝えていけば良
かと不安に思いました。だから私達がもっと感情を込めて伝え
て、ほいけなさいと思ひ、もし伝えることをやめてしまったら、また戦
争が起きてしまうと考えました。今回の話では、太陽の表面
温度よりも熱くなってしまうことにおどろきました。
また、原爆が約3mもの長さがあり、4セもあることにもびっくり
しました。そして、この一つの爆弾だけで多くの尊い命をうば
ってしまったというさぞくた事を思い返しました。もし自分が兵
隊なら、人々を助けることができなかつたかもしれなかつたと思
いました。自分は体験したことがないので想像しかできま
せん。でも想像よりもはるかに上にざんてくて、痛々しい出来
事なんだなと思ひ、全体に二度としてほいけなさい
ことだと伝えていかねければならなかつたと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

3/3

名前は裏面に記入してください

戦争は、すごいと思いました。理由は、いつも教科書などでは、
あったことや、国が何かしたことしか書かれて
いなかったりと原爆先生のお話を聞いたとき、
あまり書けたり、知られたりしなかったことなど
内容があり、特に、原子爆弾の大きさは、教科
書では、東京タワーとくらべたりなど数か書かれ
ていなかったのでも知られて、住宅の倍大きいという
ことが分かりました。

そして、声で表現した爆発音がなるまでの間
がとても大きく、そしてこわさがあった、戦争の場
にいた人は、私達よりこわさよりもとてもこわい思
いをしていたんだなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

改めて、戦争のひびきを感じた。実際の音を聞くと、恐怖を感じ、とても臨場感を感じた。池田義三が広島市民のため、各地に回り、負傷者処置したり、指揮をとっていることにすごいと感じた。また、原子爆弾投下都市の条件が①直径5kmを超える②平野であること③空襲がなかったなどというように条件があったことにおどろくとともに、ちゃんと考えている人だなあと感心した。そして、候補になった都市が、広島と長崎以外に、横浜、新潟、京都、小倉があったこと知り、もし横浜や京都におどれていたら、今の日本はなかいのではないかと思った。原子爆弾が直径200mで7000℃だからこそ、広大な土地を選び、被害が拡大していたのではないかと考えた。原爆により発生する衝撃波の速さが明らかに、音の速さより速く、おどろいた。また原爆による被害が広島市人口の35万人のうち、死者数が14万人で、死亡率が40%と5人に2人が亡くなっていることに悲しみを感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、授業で学んだことは格が違うほど、おそろしく感じました。体育館で話を聞くことは、少ない訳ではなかいけれど、一番とって、いいほど身にしみたと感じます。納得したばかりではなく、実際に体験した人かどれほど、当時、こわかったのか、言葉に表せないほどのきょうふだ。そのことと分かりました。話として聞いて、あふれるなみで、さうぶの中にある悲しみや、苦しきという感情を感じられました。今に至るまでどれだけの人が苦しき、悲しみ、そして亡くなったのか、このすぢょうな時間によく分かりました。今、私たちの住む日本という国がどれだけの平和で、大切なものか、また私たちが今、どれだけの幸せかとこの授業を通して改めて考えたこと、思いました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1

今ある日常はあたり前にある事ではないんだとこの授業を受講して改めて思いました。学校に行けること、じゅう分に食事ができること、全て平和があるからこそ実現できているのです。では、どうして戦争を人々はやったのでしょうか。(やるしかなかったのかもしれないけれど)疑問に思いました。でもそれは自分達の利益の事しかおたがい考えていなかったからだと考えました。おたがいがおたがいを尊重し、相手を思える心があれば、いじめが言えれば、戦争は起きなかったのではないのでしょうか。苦しむ人は出なかったかもしれない。って思いますが、だから戦争についての事を学んだ自分達は、もう同じような悲劇をつくらないように、おたがいを思いやれる心を大切にしていきたいと思います。また、今ある日常をあたり前だとは思わなくて、今の平和に感謝をして、その事を忘れずに生活していきたいと思ひました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

戦争は、改めてやってみようという
 おそろしいことだと学びました。そして、

戦争で使われた「ENOLA GAY」は、

表面温度が7000℃で太陽の温度

は、6000℃と太陽よりも1000℃も熱か、

なことにおどろきました。また、原爆

を最初に広島におとしたのは、天候

が良かったからでその時、広島

の天候が悪かったら歴史が変わって

いたのかもしれないと考えました。

原爆の死者の中でも2万人は一瞬で

亡くなってしまい、広島の人口で5人に

1人が亡くなってしまいう一瞬でもたくさん

の人が命を落としてしまいうおそろしいもの

だと学びました。今でも放射線などで

苦しんでいる人がいることを知り、もう

二度と戦争などで人が無差別に

亡くならず、苦しむない様な世の中に

したいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞き、あらためて原爆のおそろしさや、強さを知りました。戦争の中、肌がただれている人や、焼け死んでいる人などが、いたことを知り、自分も、ゾッと、ひび汗をかくような感じになり、こわがたりました。今のころの死亡率が、40%。という事は、7人中の3人ぐらいが亡くなっているという、ことが分かり、自分にも多く命をうせられる事ができる戦争はもう二度とほしくないと思えました。他にも原爆のいりか、が強く、自然をまきこむほどになるという事に、とてもおどろきました。18歳という、自分とあまり変わらない年齢、でも戦争行かなくてはならないという状況にいた人は、自分もとても大きく、国のために命をさけられる人だから、とてもすごいなと思えました。また戦争は正しいとされてきたため、小さい子ども戦争を行う訓練をしていたと授業でしり、とても大変だったんだなとも思いました。助けを求めている人を、助けられないという事は、とてもつらく、くるしいと思ひ、自分もとても悲しくなりました。特別授業をうけ、私は戦争のくろさを知り、沢山の人の命をうせよう事は、もうあってはならないと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を聞いて、戦争はこわいなとあらためて思いました。戦争の状況を再現していて、とても本格的にこわさや悲しさなどが伝わりました。そして、90分間の中で、いままでの授業の内容よりもくわしくなれました。物語を話すようにその当時に行った人のように話していてすこいなと思いました。原爆はすこく熱いことを知らなくて、とても熱いし、大きいったなと分かってよかったです。「リトルボーイ」は小はそうな名前をしてゐるのに効果はすこいんだなと思いました。原爆で5人に2人がせくなってしまうのがとても悲しかったです。京都が原爆のこうほに入っていたのがおどろきました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1

特別授業をうけて、原爆はこわいものだと思いました。
 大きな音は、衝撃波と衝撃波が地面からはね返った
 ものであることも分かりました。原爆は、太陽の表面の温度
 よりもあつく、ふつうの人なら、いっしょんで消えてしまうこと
 も分かりました。どれだけがムジウなどころにいても、それ以上
 の力で人を殺してしまうことにおどろきました。また、広島での原爆
 資料館での他の人のすかたの語るとき、「きれいすぎる」と言っていた
 ことを覚えておどろきました。私もやけどをしたことがあり、それを全身
 におっていることをさ、やけどの痛さをおもい出し、あの痛みが全身
 なのだと思い、おやしくなりました。また、最後映像を見たとき、
 その時の怖さや悔しさが多にとるようになり、怖くなりました。
 近くほどつらかった体験であり、それを私達につたえようと
 してくれているのを見て、こんなことは二度とあってはいけなさとあらた
 かに実感しました。学校の授業だけではわからなかつた原爆
 のめさが特別授業でよりわかるようになりました。原爆ド
 ームの元のすかたと今のすかたをくらべたら、ものすごく
 ぼろぼろでいたたまれない気持ちになりました。広島や長
 崎におとされた原爆による、たくなつてしまった人達の思いを背
 負って、このようなことが二度とないよう生きていこうと思ひます



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島に投下された原子爆弾の強さが分かった。まるで太陽が現れたような熱で黒いおとしが、残らないほどだった。また、おとしは空気が冷んで真逆方向に空気が入って上昇気流が冷め雲になり限界まで上がって去ることまで分かった。話した人が投下された音を大きくしてくれたのは原爆の音の大きさを再現してくれたと考えた。広島が最初から選ばれてきたと思っていたが、京都が優先されていた所におどろいた。しかし、アメリカも文化財などを気にして京都に投下しなかったことから、アメリカ人はその時心がないと思っていたが、心があると思った。投下した原子爆弾の前例は、行かぬまが子とむらさきからこれからおどろくことになると思っていた。月几がほろほろと肉が見えるのを想像しただけでとてもおどろしかった。池田義三さんが泣きながら原子爆弾のことについて話していて、それほどおどろしく強いものだとは分かった。原子爆弾の投下は、戦争を二度としないといけないと思った。このことを心にためていようと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

まず、終わって思、た事は「戦争」は悲しみしか生まないし、多くの物を失うから「絶対」にやりたくないという事です。お話を聞く中で、しあげきを受けたのは、原爆を受けた人は皮ふがはかれ、肉がズルズル落ちるということであるのに、人の姿をしておらず、ただ、助けて、助けてという言葉を想像すると、怖くて寒さがしました。他にも原爆からしばらくた、た日元毎川の水がなくな、てかわりに死体がい、はいあ、たというのが信じられませんでした。3000℃のしゃく熱地獄からぬけたらと、川にとびこんでも川の水がふ、らうし、「ゆでダコ」のようになっていたという話からも、原爆のひさんさが分かりました。話を聞いていて、原爆先生のお父さんが、資料館で死体を見た時、きれいすぎるというたのが驚いたのと同時に、しあげき的でした。今日は、教科書などにはの、こないリアルな言葉をきけて、戦争のひさんさを、知りました。もう戦争な



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

授業でやったものよりも写真などが
あり、とても当時のひさんなこうけいが
想像できました。げんばくによりひんが
はがれ落ち助けようとしても、ひんが落ち
るためおいていかれてしまう、ということに
本当に心が痛みました。また、げんばく
が投下されたのは広島だけでなく長崎、
小倉、横浜、新潟、などの各地だとい
うことを初めて知ることができました。
ひばく者たちは自分の体が熱いため、
川にある水を求めるが、川の水も太陽の70
00℃により「熱い！」より「体がとけるほど
熱い！」となるほどになっており、ひん
だ結果、たくさんの方がやけど死んでしま
ったことにおどろきました。

言葉で表しきれないほどの、ひば
く者の方々、兵隊さん方の大変さがあった
のだと今回の授業を受けて改めて感じ
ました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のおそろしさを改めて実感した。今回は普通の授業で学んだことよりも細かいところまで矢張り知ることができた。

原爆の被害の種類は「熱線・放射線・衝撃波」の3種類があるということが分かった。どれも全ておそろしいものであった。

原爆を落とす都市の候補に広島長崎の他にも京都や横浜などがあったということにおどろいた。原爆は上空600mで爆発し、表面が7000℃で太陽よりも熱いということにとってもおどろき、真下の温度は3000℃でそこにいた人は一瞬で炭になるということを知り、とてもおそろしく思った。

今回の話を聞いて、原爆は自分達かと思っている、何倍、も何十倍もおそろしいものだと分かった。その悲痛さを未来に残していくために「原爆ドーム」などの建物を残していくべきだと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

実際に体験した人はたくさんの泣き声
けが声も聞こえても逃げずに命令に
従いましたか、もしよくなら命令がど
うとかを考えずに逃げ出してしまっ
ていると思います、そんな時でも命令をはた
そうとするのはとてもすごいと思いま
した。そしてアメリカ側の話を聞いて戦
争中ても日本の事を考えてくれていた
と思います、何万人も死んでしまいま
したが相手がアメリカで良かったと思
いました。そして原爆がどれほど危険
な物なのかというのが分かりまし
た。7000℃という太陽の温度を超える
ような高温が戦争に使われてい
たなんて知らず一瞬間にして全
部も飛んで消滅してしまっ
たとは思っていません。たのびで恐ろ
れる理由も分かりました。よ
うな気がしました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原火暴先生の授業を受講して、戦争はたくさんの人を命をうばい、悲かな事で、二度とやるとはいけなと改めて実感しました。原火暴が投下されると、熱線放射線、しょうげき波がおそってくる。広島に投下された原火暴の名前は「リトルボーイ」とい、横312mで重さが約4tもある。そしてこの原火暴を落としたのは、「エノラ・ゲイ」でこの戦闘機は時速300kmで走行することが出来る。原火暴を落とす候補の条件は3つある。1つ目は、その都市が直径5kmを超えること。2つ目は、平野であること。3つ目は、その都市に以前空襲がなかったことだ。その条件で候補になったのが広島・小倉・長崎だ。アメリカは京都を一番おしっていたが、日本を占領したときのことを考え上の三つにしたそうだ。原火暴の表面温度は7000度で、太陽が地球に近づいてきたのと同じ目だった。この原火暴で広島の死亡率は41%で、被害を受けた人の割合は70%だった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆で候補になった都市があつたことを知らなかつたです。

広島、小倉、長崎、横浜、新潟、

京都の6つもあつたのに、2つの都市におとしていたからアメリカの人々が京都を押していたのに、

・人間にとって、重要な文化財がいかに大量にあるから

・アメリカがいかに日本を占領した時の日本人の感情

この2つを考へたのであれば、なぜ2つもの都市に原子爆弾をおとしたかが理解できなかつたです。

原爆の死亡率がいかに5人に2人だつたら、クラスが30人だとすると、12人がせくなることになりました。

こんなにあくさんの人が亡くなるなんて、絶対に戦争はしては

いけないと思ひました。貴重なお時間を

をいただきありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、実際に戦争時の兵の気持ちなどを聞いてみるうちに、やはり戦争は二度とやってはいけないものだと言った方も、その場を再行していた時に深く感じました。また前半のやけどをおった人々が苦しむ様子は、聞いている私まで、苦痛でさげんでいる人の呼吸が聞こえたような気がします。また、人が生きていないように見えることや、道でたれこけになってたおれている人などは今の時代にはありえないことなので、すごく恐怖を感じました。ですが、原爆は人を沢山殺すためのものだと考えると人間がこのような苦しみを味あなければならぬのでしょうか。人々は、戦争をしなくたて物事は話し合いで決められるはずですが、なので多くの人を苦しませる原爆はあっていけないと強く思いました。原爆は、亡くなった時に被害を受ける人や、放射線などの二次災害などでも被害を受けることを知りました。これらの事を知り、原爆は太陽以上の温度で人々をおそう、あってはならない物だと深く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

けんぱくドームは一瞬間にして、たくさんの人々の命をうば
ってしまふことが分かります。けんぱくは必ずあ
ってはいけない事は分かります。また、戦争で気づか
されたことは、いじめです。よくニュースなどで
やっている、自殺なども、いじめの原因だったりす
ることが多いです。戦争もいじめも、悲、しくは
たり、最悪、人が亡くなったりしてしまふこと
があります。そのため、自分は戦争といじめを
同じようなこととして、とらえました。今、自分達
が出来るとはかきられて少ないです。しかし、
自分達が、気をつけることは出来ます。特にい
じめは自分から気をつけていじめのきっかけ
を作らないようにすることや、いじめをとめるこ
となどなら自分達にも出来ます。戦争は、自分
達がとめることは出来ませんが、平和をいのり
つつ、いじめや世界の課題を解決して
いきたいと、思いました。貴重な話を聞く
ことが出来ました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/13

戦争の恐しさを己文めて知るもたった原爆は戦争の最後の方だったが、1つの原爆で何十万人も被爆しててくた。そして秒速が日常で見える気温の70倍。太陽の表面より熱熱線(0.001)。毎秒440kmの音速をこえる2回のうげき波。戦争後人も苦しめた放射線におどろいた。もう広島には同じような事が起きてほしくないと思った。この授業で、とても疑問に思ったのが、横浜や新潟はなぜ落とされなかったのだろうか。そして原爆の名前がなぜ「リトルボーイ」という名前なのか。どちらにしてもぼくはそのような事は起こってほしくないと思った。ぼくがその場にいたら、目を開けることもできないし、えもえも、何もすることができなくて絶ぼうしていったと思う。だから、もう原爆が起らないよ戦争が起らないようにがんばりたい。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

社会の授業で原爆は恐ろしいものだと勉強しました。
今日の原爆先生の授業で僕が思っていたより怖いものだと
よく分かりました。

原子爆弾は、おらた場所より物前で落すと、
目撃者着くとも目撃者が助成島に落ちたことや
「リトルボーイ」と名前が来たことを初めて知りました。
そして爆弾の中心温度にしておじろきました。
その熱であとい間た多くの人の命が奪われて
しまったことは悲しいことです。

世界中で二度と原爆を使わないでほしいです。
今日の授業を大人になってもおぼれたいように
したいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は原爆のおそろしさについて、1人の人物をもとに、いねいに説明いただき、ありがとうございました。

「広島の日間」では、原子爆弾爆発の瞬間、爆心地から2km以上はなれていても丸人が10m近くふき飛ばされたことや、爆心地付近では大勢の被爆者がいたことなどを知ることができました。特に、爆心地から数kmはなれた場所がじゅうたんの場合は考えたことも無かったので、とても勉強になりました。この話で僕が一番おどろいたことは、元安川の水が激的に減り、真っ赤になった死体で埋め尽くされていたことです。1発の原子爆弾による被害の大きさとおそろしさを感じました。

また、原爆「リトルボーイ」はどのようにして落とされたのかについて、原爆爆発のとき表面温度は太陽の表面温度を超える7000°Cだったこと、原爆の被害は具体的に熱線、衝撃波、放射線だったことなども知ることができました。

今回学んだ原爆のおそろしさを忘れず、平和について教えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆はとても熱く、体中がもえ、鳴りがけが
れた。うでをぶちやがたりとくわしくおしえてくれた
ため、原爆はおそろしいから原爆は100
ことが起こるからおそろしい」に変わ、なり
原爆のことをおろくわしく知れた。

また社会でならわなからたことを学んだこと
で考えが深まった。先生の教え方と話し
上手で、ただ話すだけでなく、その時の様子、
音を再現して話してくれたから、実際に原
爆を体験していないけど体験している

みたかった。原爆はおそろしく、家族、友
だち、家を一緒に失い、自分にも被害が
あり、とてもかわいかった。これを友達などに
教え、「戦争をためし」などを広めて
今後起こさないようにしたい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて私は戦争はおそろしく、こわくて、たくさんの人々がたてはうということ、私は、すごくこわかった。原爆は、頭上からそのまま落ちるとなると、たくさんの人々が、一気に焼け死んでしまうこと、私は、おそろしさ、こわさしかありませんでした。原子爆弾投下の条件の中の①直径5kmを超える②平野であること③空襲がなかったこと、私は、とてもこわくて、こわいと思いました。戦争はおそろしさ、たくさんの人々がたてはう、ということが私にとって、とてもこわい、怖いと思いました。社会の歴史の中の戦争の学校授業では、本当にそれしか習わなくて、そんなことが起きたんだ、と感じてそんなおそろしいにはなっていないでした。だから、今回原爆先生のお話は、とてもおそろしい、戦争のおそろしさ、こわさをあらためて知ることができました。今日は、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けて、戦争のおそろしさを知った。とくに死者40% (5人に2人が死亡する) という事実を知り、とてもおどろき、こわくなった。5人に2人だと1クラス12人、1学年36人死してしまふという事だ。その事から戦争はたくさんの無関係の者を亡くしてしまふものだと分かった。そして原爆先生の「皮がむける」「火だるま」「炎の海」という表現や言葉だけでも私達はおそろしかったのに、それを見た人達はもっとおそろしく、こわがったと思っただ。そのようなこわい思いをいどとマセないためにも、戦争はもうやまない方がいい」ところから思っただ。私達は今、戦争のない平和な日本でくらし、生きていけるけれど、このように戦争のおそろしさを聞いて、実かんすること、とても大切なことだと学んだ。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて戦争の怖さを知った。戦争中の状況や被爆者の心情など原爆先生は話して下さい。自分は、この平和な時代に生まれできて良かったと感じた。また、義三さんのビデオを視て泣いてしまうほど、苦しい思いをしたと強く感じた。そして原爆先生が広島市の5人に2人が死亡してしまうと言っていて身近な人が亡くなるかもしれないという恐怖を想像し、ものすごく戦争というものが怖くな未。しかも様々な人達が何も悪くないのに、とんとん亡くなってしまい、原子爆弾の温度が太陽の表面温度よりも熱い「7000」という数にやうけきを受けた。この経験をもとに戦争というおそろしさを、後世に伝えていければいいなと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゆこう}別授業を受講して

表

原爆は、広島、長崎、小倉にあつては、
横浜、新潟、京都も候補にあつた
ことが分かつた。その候補の京都は、
後にアメリカ軍がせりよするた
めにのこしてあつたことも分かつた。

原子爆弾投下都市の条件があつたといふこと
が分かり、直径5kmを超えて平野で
空襲がなかつたといふ条件があつたことも分
かつた。工場の数は、B29にのつたことのあるナベツ
トの母の名前がといふことが分かつた。

広島の死亡率は、40%といふことも分かつた。
太陽は、6000℃原爆は、外が7000℃内が
100万℃600mの高さにあり、地は3000℃に
なつていふことが分かつた。

衝撃波の速さは毎秒440m、音速は
340mといふ所が、音より速いといふことが分かつた。

コンクリートやトナリ屋の中の人には生き残つた。

元町川の中にいた人は全員亡くなつていた。

人がいた所のコンクリートの土には人のあとが残つていた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、これをきいてたくさんの方が泣いてしまったというのが
分かりました。トルホーイとけんぼくをかんちがし
したというのにもこわいなと思ってきました。私たち
はけんぼくをしていないので実さいのふうけいなど
をしりませんでした。けんぼく先生のじ
ゆしょうをしてふうけい、実さいのあそびさ
が伝わってきました。そしてふうかがペロペロ
おちるといふのもあそびさかっただけです。ふう
かのおちる様子をこわくしてたくてしかたが
ないと思ひます。本さいの表面が6000°で
す。エノケイというのにもさしほはんの
ことばろうと思ひていたらお母さんの名前が
つたらしいです。けんぼくがけんぼくかえって
くるというのにもこわかったです。アソビ
テカパラシュートでおちてきたと思ひた
ちがうサマでした。けんぼくしょうという
のにもこわかったです。このじかんであそび
しくこわいのが分かりました。私たちのた
めに時かんをくださり、ありがとうごさいます。



原爆先生の特別授業を受講して じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

3/3

ぼくは、原爆はおそろいものだと
 思いました。一発の原爆投下で、
 何万人の命をうばうのは、想像が
 つきません。また、高度600mに太陽より
 熱い物があるのも、想像がつかま
 せん。原爆は、一瞬間で体中の水分を
 蒸発させ、衝撃波も音速より100m速
 いということにおどろきました。また、
 24万人のうち、14万人という、死亡率が
 40%もおどろき、おそろしさが話文中
 からでも感じられました。原爆で直接亡く
 なる人もいますが、汚せられた水や食料を
 口に入れて亡くなる人もいます。そして、
 その被害で今も苦しんでいる人々が
 多くいることも分かりました。広島、
 長崎にしか原爆が落とされていない
 と思いましたが、小倉、新潟、横浜、
 長門も落とされていて、おどろきました。なので、
 戦争はや、てはならないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆く先生の話聞いて、私は初めて広島小倉
長さきで天こうには、場所を変えようとしていたと
知りました。太陽が6000℃なのに対し、「エノラ・ゲ
イ」から落下された「リトル・ボーイ」は7000℃も
あるというのにびっくりしました。

「死亡率40%です。」と聞いたとき5人に2人
の割合で亡くなるということを考えました。

リッソッとしてました。

本人のお手紙やお話の内容でリッソッなみだが
出そうになりました。うでをあびたくてもいたくて
助けを求めると大変だと知ったとき色々な感情
がこみあけてくるのは分かりました。かなしい気持ち

そして、つらさや大変さがよく伝わってきました。

今まではこわくて戦争のことはなるべく考えない
ようにしてきましたが、原爆く先生のお話を聞き
よく考える時間が増えました。

ありがとうございました。

あらためて私は戦争は二度としてはいけないと
思いました。



原爆先生の特^{じゆこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕が特別授業を受講して学んだことは、たくさんありました。

1つ目は、戦争は絶対に起さしてはいけない、ということ。なぜなら戦争は人がたくさん死んでしまうからです。

2つ目は、原子力は危険で、使うべきではない、ということ。なぜなら人が、人の姿ではなくなり、炭のようになってしまうからです。また、原爆症という病気に放射線を浴びて、かかってしまうかもしれないからです。

原爆の悲惨さを教えるに来てくれて本当にありがとうございました。僕は先生の話を聞いていた時、とても怖くて、戦争は、何かどうあろうとも、やっばいいけないと、改めて分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この授業を通してぼくが思、たことは、
 「人は残さなれ」ということです。
 原子爆弾の事は、戦争に関するニュース
 や本を通して、爆発や放射能、黒い雨
 などある程度は知っていました。しかし、
 今回の特別授業で温度が3000℃
 あることや音よりも速いしゅうけき波があ
 ることを知ることができました。

なぜ人は残さなれと思、たのかと
 いうと、戦争中とはいい、770万人を殺すた
 めに計算し原子爆弾をつくり、風や地形
 を計算しておとしたからです。

①直径5kmを超える ②平野であること
 ③空襲がなかった ここまで計算して原爆
 を投下していたと知、た時は、とてもショック
 で爆弾を、それをつく、た人は残さなれ、
 と改めて感じました。

この授業を通して、戦争の無い、平和な
 国に生まれて本当に良かったと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まではあまりよく分からないまま
 戦争はおそろしいのはだからやめて
 はいけないと思っていたが今日
 の話しを聞き、原爆は多くのひどい
 こと、例えば、投下地点の近くにいる
 人はほとんど7人中で死んでしまうことや
 投下地点は3000℃になること、今まで
 苦しんでいる人がいることが分かった。また戦争
 も、同じ人数が殺し合ったり、けがを
 さしたり、考えるだけでもおそろしいこ
 が起きていた。だから、私は改めて
 原爆の戦争はあってはならないこと
 だと思いた。これからはこのようなこと
 が起こらないよう、知らない人！戦争
 の実情を知らない人、なんとなく戦争
 をやっていたかなと思っている人が
 1人でもたくさん戦争は起きてはい
 けないとしっかり思えるよう今日学んだ
 ことを伝えていきたいです



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて、知らない事をたくさん知れました。原爆症の事や、爆撃機「エラ・ガイ」は、千ベツ大佐の母の名前だ、たことなど、たくさんを知りました。そして、一番おどろいたのは、原子爆弾の表面温度が太陽よりも1000℃あつい「7000℃だ」という事です。小さい太陽が地上600mまで来ると同じような熱さというのは全く想像がつかなくて、とてもおどろきました。今まで、小学校では「広島と長崎に原子爆弾が投下され、破がされた」ということぐらいしか教えてくれませんでした。今回、義三さんの体験したお話を聞いて、もっと深い、リアルな事を知りました。このような「原爆を教える」という事は、二度と、このような事を起こさないという教訓になると思いました。こんな貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

原爆について詳しく説明していて、原爆を恐
めて怖いと思わされた。なぜ怖いと思っただかど
らと、原爆の爆発の温度は3000℃ぐらいで、さうに
計算して落としているからです。直径5kmの
平野で、一度も原爆が落とされていない所に
落としていると知ってとてもおどろきました。
一つの爆弾によって何千人もの命が奪われ
てしまう事がとてもショックでした。
素朴な事などで原爆の話を見た事があつたけど
直接体験した人の話が聞けてよかったです。